

『地域で学ぶ、地域を学ぶ』高等部におけるキャリア教育の取り組み

高等部では、ふるさとを愛し社会の一員としての自覚と誇りをもち生きていく力を身に付けることを目標にキャリア教育を進めています。地域と連携した作業学習や職場での現場実習等の本物の体験をとおして、自分の適性を知ったり、働くことへの実際的な力を身に付けたりできるようにしています。また、高校生活は、社会生活へつながる学校生活の出口でもあります。高等部卒業後の姿を思い描き学校生活を送ることが大切です。

1. 地域と連携した職業教育による勤労観、職業観の育成

作業学習

作業学習をとおして、進んで仕事をする事、挨拶・報告・返事をする事など、将来の職業生活に必要な力を育みます。また、地域性を生かした地域と連携した取組を行っています。木工、陶芸、縫製、アグリサービス、ビルクリーニング、エコ・クラフトの6つのグループに分かれて学習しています。



【果樹園での摘果作業
アグリサービス班】



【事業所による清掃技能指導
ビルクリーニング班】



【雲昌寺での作業学習製品販売
縫製班】



【小玉醸造直営店での販売
陶芸班】

校内実習 現場実習

自立と社会参加を目指し、学校から社会へスムーズに移行できるように、春と秋の年2回、14日間校内外で就業体験を実施しています。現場実習は、学校や家庭で身に付けた力が求められることから「日常生活を含んだ学校生活全般についての力試し」の機会とも言えます。



【お弁当の製造】



【スーパーの品出し】



【介護施設での周辺業務】



【校内で事業所からの委託作業】

2. 地域への愛着心を育む地域貢献活動

卒業生のほぼ100%が高等部卒業後も地元で生活しています。地域の一員としての誇りと愛着心をもち続け、秋田の将来を支えていく社会人になることを目標に、地域へのプランター設置や駅舎などの公共施設の清掃活動、高齢者世帯等の冬場の除雪ボランティアなどの地域貢献活動を推進しています。



【地域へのプランター設置】

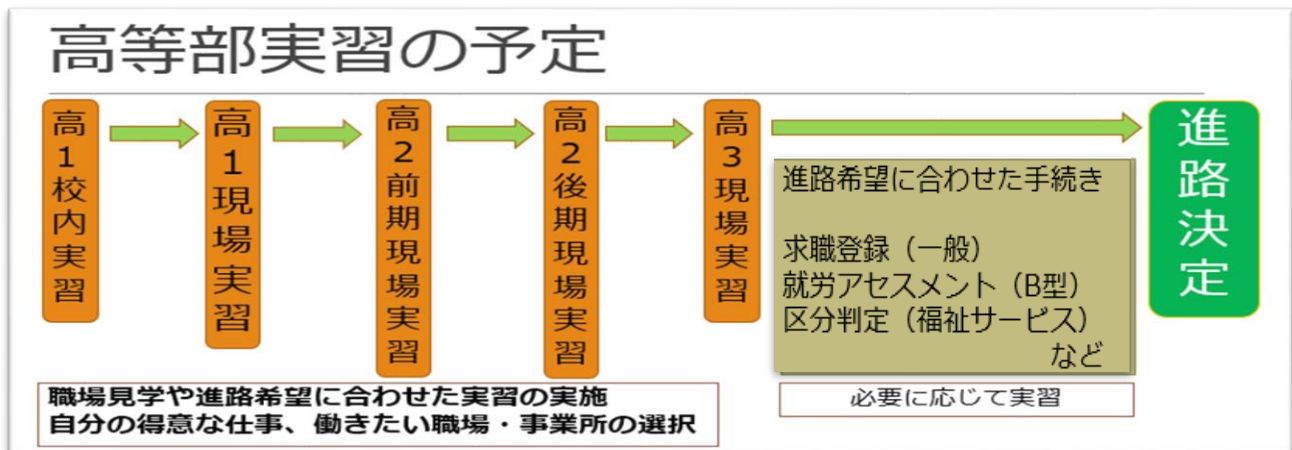


【除雪ボランティア】

「地域で学ぶ、地域を学ぶ」を合い言葉に、地域の一員として活躍できる社会人を育成しています。

卒業後の進路決定まで

高等部では進路決定に向けて、次のように実習を実施しています。



現場実習や個別実習では、実習受け入れ先から 働きぶり、コミュニケーション、身だしなみ等の項目について評価を受け、生徒や家族の希望と受入先事業所の意向をすり合わせていくことになります（一般就労・福祉サービス利用どちらも共通）。

進路先や実習先を決める

生徒本人や保護者の意向について、進路決定に向けて優先することを面談時に確認しています。話題にする項目は、主に次の4項目です。

- ①**仕事内容**：本人に向いている仕事とは。座ってじっくり取り組む仕事、立ち仕事など
一般就労→「事業所の求める力（職場によって異なる）」を生徒が満たしているかがカギ
- ②**通勤・送迎**：自力通勤・家族送迎が可能か、事業所の送迎サービスが不可欠か など
- ③**勤務時間**：帰宅して一人で過ごせるか、一般就労を優先する場合、短時間勤務可か など
- ④**条件など**：B型や生活介護の希望など（最終的には事業所が判断、希望と異なることも）
*双方のニーズのマッチングができなければ、受け入れ不可。利用できないことも

高等部で現場実習などを行いますが、それまでにじっくりと「仕事に向かう基盤」を整えておくことが大切です。実習の評価を受けると「仕事はできるけど、〇〇がね・・・」など、仕事以外で課題があることも多いです。例えば、他の利用者との関わり方、支援（アドバイスや注意など含め）を受け入れること、身だしなみ、体調・生活リズムの安定、意欲的な取り組みなどが挙げられます。これらの「仕事に向かう基盤」を、小学部段階から育むために、本校では「天王みどり学園 キャリア教育全体計画」に基づき、系統的に指導しています。毎日の学習や家庭での経験は、卒業後の生活につながっています。

第2回 みどり特学担任等相談会

9月～11月に実施します。
詳しいお知らせと申し込み
方法につきましては、本校ホーム
ページをご覧ください。



秋田県立支援学校天王みどり学園

TEL:018-870-4611 FAX:018-870-4612

教頭:佐川 透 教育専門監:小野 直子 地域支援部:遠藤 美和子

特別支援教育地域センター

(男鹿市立船川第一小学校内):月・水・金

TEL:0185-24-3231

特別支援教育アドバイザー[小松 美幸]

